

「第21回イーハトーブの科学と技術展 頭と体と心の3体験(みたいけん)フェスティバル」における環境科学教育の実施  
HRSBエネルギー研究活動助成活動報告

実施担当 岩手大学 理工学部 高木浩一

平成28年10月23日に、岩手大学・地域連携センターにて、「第21回イーハトーブの科学と技術展 頭と体と心の3体験(みたいけん)フェスティバル」が開催された。主催はみちのく「体験の風をおこそう」運動推進協議会であり、子どもたちに様々な体験をしてもらい、科学や研究などへの興味と理解を促すイベントである。本イベントには、岩手大学の教職員が、それぞれの研究室・部署で体験・工作コーナーを設置し、来訪者が自由に体験する。本研究室のコーナーでは、エネルギー変換を体験してもらう目的で、手回し発電機を用いて発電し、小型電気自動車の走行、白熱灯やLEDを用いた光の発生、ペルチェ素子を用いた熱の発生について、実習を行い、力から電気、そして電気から、光、熱へのエネルギー変換について直感的に体験させた。また、発電をより身近にかんしてもらうために、自転車を漕ぐことによって、100W近い発電も併せて体験してもらっている。特にこちらは子どもたちに人気で、気に入った子どもは何度も足を運んでいた。イベント全体の来客者は数百人規模であり、本研究室のコーナーも大きく賑わっていた。

